

宮川の風 第71号

平成31年1月11日（金）発行

宮川小学校校長室からのたより

新年明けましておめでとうございます。今年も宮川小学校職員一同をよろしく申し上げます。今年一年も皆様方にとって良い年になりますことを、職員一同心よりお祈りいたします。

私、初詣に行きました。初詣ですが2回行きました。それぞれ別の神社ですが・・・1カ所目は、除夜の鐘が遠くで響く中、近所にある神社に出かけていきました。「一番近い神様だから、特にお世話になると思うので」という気持ちです。2カ所目は、鹿児島市内の大きな神社です。「大きな神社だから御利益も大きいのかな。行かなかつたら見放されるかもしれない」という気持ちです。実に多くの人たちが並ぶ中で、その中の一人としてお参りしました。年の初めは、何かにつけて“意味”を見つけたがるし、良いご縁を求めてしまう自分です。

さて、年の初めには、自分の生き方について改めて考えてみることもいいのではないかと思います。そう思ったとき、以前読んだ本のことを思い出しました。裏面をご覧ください。

「謙虚」や「一隅を照らす」という生き方は、すばらしいものです。しかし、自分にできるかどうかは自信ありません。「欲」が邪魔をします。でも、少しでも近づきたいという思いを持ち続けることで、何かは変えられるかもしれません。小さいことでも、ほんの一場面でも「謙虚」「一隅を照らす」ことができる一年にしたいと思います。

そして、子どもたちにも、そんな姿の素晴らしさを伝えられたらと思います。子どもたちには難しい内容でしょうが、裏面の話を親子で読んでみることも、良い勉強になるかもしれません。

3学期も一人一人の良さを、たとえ目立たないことであってもすばらしいと認め、その子の自信につなげたいと思います。

2学期末にご協力いただきました「ゆめをかなえる21の力」についてのアンケート調査結果がまとまりました。保護者の皆さんの評価をみると21項目中11項目が向上し、2項目で下降しました。引き続き指導の充実に努めていきます。結果の詳細は、プリントを配布してありますのでご覧ください。

県内でインフルエンザが流行しています。換気、うがい・手洗い、マスク着用などに注意していきます。ご家庭でもご注意を！

ある日のできごとから



冬休み中も携帯電話は常に身近なところに置いていました。仕事上の緊急な連絡や、あつてはならないことですが事故や事件の連絡があったときに、素早く対応できるようにするためです。幸い、そのような連絡は1件も入ってきませんでした。宮川小の子どもたち全員が、きまりを守って生活してくれたからだ嬉しくなりました。また、見守ってくださった保護者や地域の方々、事前指導を子どもたちの心に届けてくれた職員にも感謝の気持ちでいっぱいです。

8日の始業式の朝は、民生委員の方々も正門に立ってあいさつ運動を行っていただきました。子どもたちは、2学期同様に、立ち止まって「おはようございます」とあいさつしてくれました。あいさつ運動や清掃などのボランティア活動に取り組む子どもたちもいました。その変わらない姿に安心感を覚えました。

始業式で堂々と発表してくれた3人の子どもたち、それを静かに真剣に聞いている子どもたち、さらに、周りで子どもたちの様子を観察する職員、すべてが宮川小の姿らしいものでした。

新しい年になっても変わらない良さを見せてもらいました。

なお、始業式で私から子どもたちに話した内容は、学校ホームページの「学校長あいさつ」に掲載してありますのでご覧ください。

(文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二)